

清掃活動がスタート

ボランティア団体、各地で

延岡市社協

記録的大雨による浸水
被害を受け、延岡市社会
一けたボランティア団体
に依頼を受け、延岡市社会

による清掃活動がきょうか
ら、延岡市内各地で始
まった。

このうち同市浦城町で



ぬれた家具の撤去作業に当たる災害ボランティア(きょう午前、延岡市浦城町)

2024/10/25
夕刊デイリー

は、「西の丸(本社・門川町中須、西谷淳社長)の社員13人が二手に分かれて作業。依頼があった3軒の民家で、ぬれた家具や畳を撤去し、軽トラックで臨時のごみ集積所まで運んでいった。

同町で床上浸水の被害にあった30代女性は「畳もその下の板も水で浮いてしまっ、当時は足場が無い状態。家族4人でベッドの上に身を寄せ合い、水が引くのを待つしかなかった」と振り返る。

「水に浸かって車も駄目になってしまったので、荷物を運んでくれるボランティアの方々には感謝しかない」と話していた。

市社会福祉協議会生活福祉課の平田翔太郎さん(30)は「被災された方々

が、一日でも早く元の生活に戻れるよう尽力する、西の丸社会貢献部の新居久典部長は「まだ確認されていない被災家屋もあると思うので、今後とも市と調査、相談しながら継続して活動に当たっていきたい」と話した。

このほか、熊野江町ではボランティア団体の「ひのきしんの会」などが活動した。